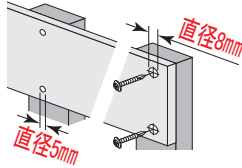


施工者様へ 必ずお読みください

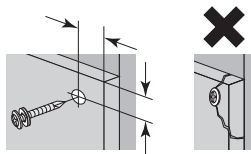
※本商品は、樹脂が含まれるため温度変化による伸縮がありますので、それらに対応するため必ず下記内容を守って施工してください。
また、下記内容を守らず施工し不具合が発生した場合は、一切の保証を致しかねますのでご了承ください。

パネルビス穴の大きさ※1



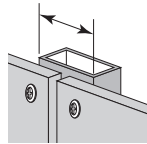
端部は8mm、中央は5mm

パネルビス穴の位置※2



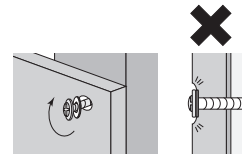
端から20mm以上かつ穴の中心

柱サイズ



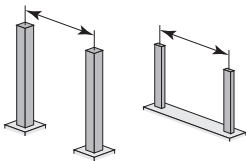
幅 60mm 以上

ビスのとめ方※3



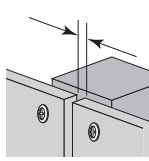
強く締め過ぎない

柱ピッチ※4



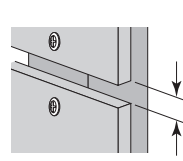
1000mm 以内

パネルすき間(長手方向)※4



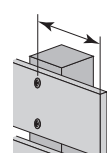
6mm(冬季施工時8mm)

パネルすき間(幅方向)



5mm 以上

パネルはね出し



200mm 以内

※1 間柱の位置を中央としてパネルの伸縮に対応する為、中央は5mm、端部は8mmのビス穴をあけてください。

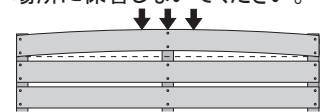
※2 ビス穴位置がパネル端部に寄り過ぎると板割れの恐れがあります。

※3 インパクトドライバーを使用する際は、ビスがパネルに喰い込まない程度にしてください。

※4 パネルの隙間が少ない場合や柱ピッチが広い場合、パネルの曲りや変形の恐れがあります。

①施工・使用上のご注意

- 商品の発送は細心の注意を心掛けておりますが、作業遅れなどのトラブルを未然に防ぐために、お受取の際は届いた商品内容を一度ご確認ください、万が一不足や破損等がございましたら至急ご連絡をお願い致します。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- 台風や突風などで事故がないよう、施工場所には十分ご注意ください。
- 軽量樹脂板、人工木板とも比較的薄い部材のため、立て掛けたり平らでない場所や日差しの強い場所に保管しないでください。
- パネルは素材の特性上、多少の反りや曲がりがある場合がありますが、製品上の問題はありませので、右図のようにパネルを矯正しながら固定してください。
- ブロック上に施工する場合は、ブロック強度を十分に考慮し、ブロック高さを含めてH2,000を超える場合は、控え柱等の補強を設けるなどしてください。
- ブロック上に施工する場合は、ブロック強度や高さを考慮し必要強度を保つ範囲内で、埋込みを必要長さにカットしてください。
- ブロック上やコンクリート上に施工する場合は、照り返し熱によりパネルに変形の恐れがあるため、下地との隙間は70mm程度あけてください。
- 軽量樹脂板、人工木板とも右記のような熱による伸縮があるため、躯体や障害物がある場合は隙間を十分取ってください。
- 軽量樹脂板、人工木板とも樹脂が含まれるため、日中や日差しが強い時など高温になりますので、施工時および使用時は保護具を使用してください。
- 軽量樹脂板、人工木材はペンキや接着剤の使用、釘での固定は避け、必要に応じて柱側に下穴をあけてからタッピングネジやドリルビスで固定してください。
- パネルは熱による変形が生じやすい材料の為、熱を発生するものや高温となる場所、近くでの火気のご使用はお避けください。
- 人工木材は、経年変化により発生した成分が直接あるいは雨水などと混じり衣類等に付く場合がありますので、衣類・布類・洗濯物などが直接触れないようにしてください。
- フェンスに登ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりなどの過度な負荷、柱やパネルへの強い衝撃、重量物の積載などは倒壊や破損の原因となりますので絶対にしないでください。



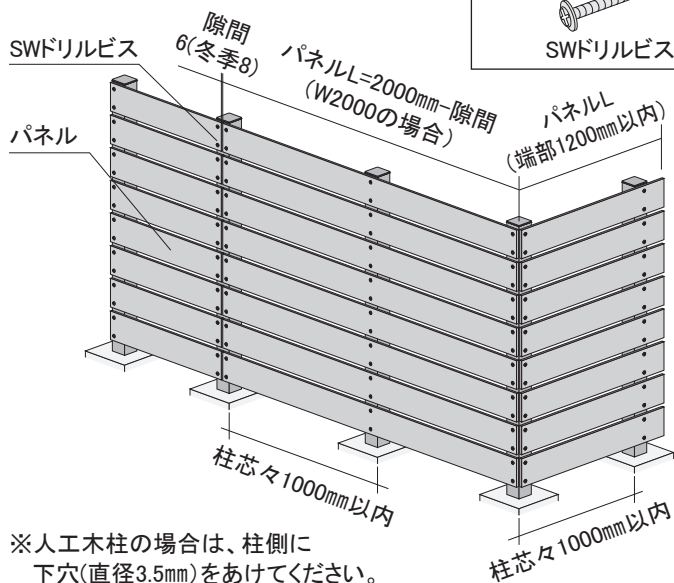
- 軽量樹脂板 (D2/パネル)
表面温度40℃変化 ⇒ 1mあたり約3mm伸縮
- 人工木板 (M2/パネル)
表面温度40℃変化 ⇒ 1mあたり約2mm伸縮

お手入れ方法

- 人工木板や人工木柱表面に傷が付いた場合は、サンドペーパー(#60)やヤスリ等で擦ると目立たなくなりますが、その際は必ず長手方向の目に沿ってこすってください。
- 軽量樹脂材の表面に傷が付いた場合は、ペーパー(#80)やメラミンスポンジ等で長手方向に軽く擦り、布等で拭き取ると目立たなくなります。



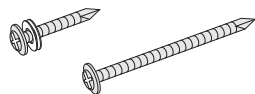
②各部名称と基本寸法



※人工木柱の場合は、柱側に下穴(直径3.5mm)をあけてください。

専用ビス

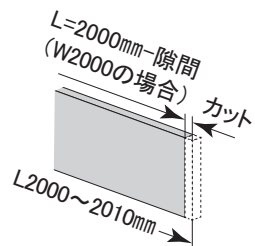
SWDドリルビス5×35



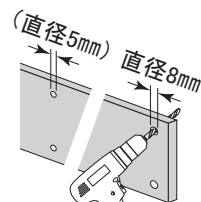
SWDドリルビス5×50

③パネルの加工

③-1 必ず隙間を考慮してパネルをカットする。



③-2 パネルにビス穴(端部は直径8mm、中央部がある場合は直径5mm)をあける。



■ 治具を使用しない場合

⇒ ④パネル詳細部寸法をご参照ください。

■ 治具を使用する場合

⇒ ⑤穴あけ治具の使い方をご参照ください。

④パネル詳細部寸法(例)

※()寸法はアルミ柱60×30使用時の場合となります。

D140L20(軽量樹脂材) W140×T15	D100L20(軽量樹脂材) W100×T15	D50L20(軽量樹脂材) W50×T30	M135L20(人工木材) W135×T15

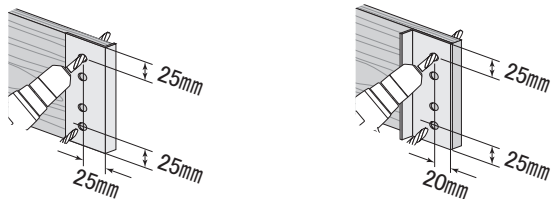
⑤穴あけ治具の使い方

D140L20

(パネル幅方向を揃え、治具外側の穴を2ヶ所使用)

■ アルミ柱75×75の場合

■ アルミ柱60×30の場合

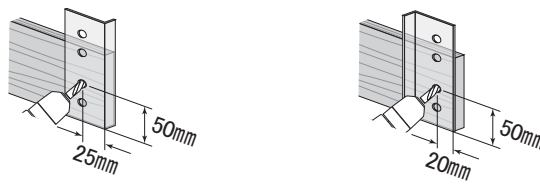


D100L20

(パネル側面を揃え、治具内側の穴を1ヶ所使用)

■ アルミ柱75×75の場合

■ アルミ柱60×30の場合

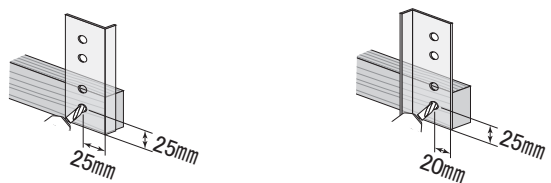


D50L20

(パネル側面を揃え、治具外側の穴を1ヶ所使用)

■ アルミ柱75×75の場合

■ アルミ柱60×30の場合



M135L20

(パネル側面をそれぞれ揃え、治具外側の穴を1ヶ所ずつ使用)

■ アルミ柱75×75の場合

■ アルミ柱60×30の場合

